

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2023年12月①号

市会本会議で代表質問をしました。

12月1日

日本共産党議員団を代表し、市長に質問しました。主な質問を紹介します。

まず、市長の4期16年間の問題を質しました。

市長は就任以来、「乾いたタオルを絞るような行政改革が必要」「民間ができることは民間へ」「社会的な課題の解決を税金、公務員が、行政がやるという時代は終わっている」と述べ、市民の大切な財産を売ったり、民間に提供したり、何よりも京都市の職員を4100人も削減しました。中でも、11行政区の区役所からは1000人の職員がいなくなり、市民にとって、一番身近な窓口で税金や介護の相談ができなくなっていることを質しました。

→市長は積極的に民間活力を導入し、職員を削減してきたと答弁。



中学校給食の巨大給食センターはやめよ！

せっかく全員制の中学校給食を実施することにしたのに、どのように実施するか調査や方式の提案を大阪のコンサル会社に委託し、「小学校のような給食調理室を作る自校方式も、小学校から中学校に運ぶ自校方式は困難、南区の東南高校跡地のグラウンドに巨大な給食センターを建設し、全市の中学校に運ぶ」という提案をそのまま、教育委員会の方針としたことについて追及しました。たぐさんのリスクの1つは安全性の問題です。調理後2時間以内の喫食が守れるのか。2つめにはコンサル会社の調査のあり方がずさんであること。3つめにはPTAや専門家が大事にすべきと意見が出ていた「食育」を巨大給食センターだとたった3人の栄養教諭しか配置しかできない問題などあり、センター方式はやめるよう求めましたが、教育長は「2時間以内の喫食やアレルギー対応もでき、事業コストが押さえられる等を勘案し、給食センター方式に決めた」と答弁しました。私は「小学校のように温かい美味しい給食を中学生の子どもにも食べさせてあげるのにどうしたらできるかをもっと検討すべき」であり、再考するよう求めました。↑

民間保育園の補助金13億円カットを元に戻せ！

13億円の補助金カットで4割の保育園が赤字になり、3割の保育園で給料やボーナスカットが行われたことに対して、今回4億円の補助金が補正予算として提案されましたが、給料がカットされた状況が改善されるのか。13億円の補助金を復活させるべきと質すと、市長は「全国の保育士よりもトップレベルの給与水準。処遇の維持向上を図る拡充はできた」と答弁しました。私はやりがいはあるが、責任の重さに見合う給料でない」と辞めていく保育士の実態を示しました。

学生支援と奨学金の返済支援を！あまりにも無策た！

大学等の高学費と奨学金返済に苦しむ若者の事例を紹介し、京都市独自に支援策を創設することを求めましたが、「国がやるべきことで養成している。京都府の奨学金返済一体形支援は市の上乗せは考えていないが、制度を周知すると答弁しました。

介護保険制度は介護職の担い手不足で危機的な状況

介護保険が始まって23年。保険料はどんどん上がり、悲鳴の声があがっています。ヘルパーさんやケアマネージャーの担い手不足が深刻化していることを示し、介護職の賃金をあげて市として、もっと取り組むよう求めました。

国民健康保険料を引き下げること、介護保険料の引き上げは絶対にしてはならないと求めました。

つぶやき：いよいよ市長選挙の予定候補も出そろったようです



年明け早々に1月21日告示、2月4日投票で、市民の暮らしに直結する市長選挙があります。16年ぶりの新人4人対決となり、市政を変える絶好のチャンスです！日本共産党は全力で、無所属・市民派の弁護士の福山和人さんを応援します。

一緒に暮らしを再生しましょう！

毎日のガザの写真…

パレスチナ自治区ガザへの戦闘攻撃により、負傷する子どもを含めた民間人の写真を見て、心を痛めておられる方は多いと思います。

少しいだけ、心の重荷のような感覚が和らいだ気がしたのは、一時停戦の時でした。それがまた、戦闘が始まり、ドーンと重苦しい気持ちに逆戻りしました。なぜ、外交による平和的解決ができないのか。腹立たしい思いでいっぱいです。

明らかに国際人道法に違反する行為ですが、日本政府はアメリカの顔色ばかりを気にして、はっきりと違反だと言わないのにも、強い憤りを感じます。



医療の現場では一人の命を救うために医師をリリークする看護師や検査技師など

どの医療チームで力を合わせ頑張ります。それが、戦争になると多くの命が大量に奪われていきます。

世界から戦争をなくす取組みを広げたいと心から強く思う毎日です。

